

その人たちは歩いていないのに、それは急行がフォームから前へ行き過ぎたので、後退したわけなのだ。珍しいことだ。

すみぞめ駅を通過する時は時速七十キロで最高であったが、それから徐々に下がって行った。

もう一つ知りたかったのは東福寺の、あの国鉄との、交差する高架の、あの下り坂での速度の変化である。

坂を昇っていく時は、六十キロから五十五キロまでぐらいに少しずつ下がった。

しかし、昇りつめ、下っても、速度は僕の期待したほど、あがらなかった。

六十五キロぐらいになっただけである。それから五十キロ前後で三条まで走った。

ただ、疑わしいのは、「いつも同じ様な速度の変化で運転しているのかなあ。少しは違うだろう。」であった。

今日は夕べ、宵から寝たので、頭がはっきりし、気分も良かったので、何だか、キョロキョロしていた様に感ずる。

三条京阪バス停、いつもの場所です。いつもの時間に、あの子がいた。